

平成31年1月25日

由利本荘市総合教育会議

議 事 録

□日時

平成31年1月25日（金） 午後1時30分

□場所

広域行政センター 特別会議室

□出席者

市長	長谷部 誠
教育委員会教育長	佐々田 亨 三
教育委員会教育長職務代理者	齋 藤 眞 紀
教育委員会委員	桑 山 明 久
教育委員会委員	佐 藤 道 昭
教育委員会委員	小 坂 綾 子

□案件

- (1) 平成30年度主要事業について
- (2) 各種事業の進捗状況について
 - (1) 学校環境の整備について
 - (2) 学校教育の取組について
 - (3) 生涯学習の推進について
 - (4) スポーツ立市の推進について
 - (5) 文化の振興について
 - (6) 読書活動の推進について

(事務局職員)

総務部長	原 田 正 雄
教育次長	武 田 公 明
教育委員会政策監兼中央図書館長	田 中 龍 一
総務部総務課長	小 川 裕 之
教育委員会教育総務課長	三 浦 良 隆
教育委員会主幹兼学校教育課長	戸賀瀬 晃 久
教育委員会生涯学習課長	佐々木 直 樹
教育委員会スポーツ課長	佐々木 進 一
教育委員会文化課長	小 野 利 彦
教育委員会生涯学習課課長待遇	佐 藤 弘 幸
総務部総務課参事兼課長補佐兼総務班長	加 藤 弘 貴
教育委員会教育総務課課長補佐兼総務班長	三 浦 雄 一 郎
総務部総務課主査	佐々木 和 宏

(開会 午後1時30分)

小川総務課長

ただ今から「平成30年度由利本荘市総合教育会議」を開会いたします。はじめに長谷部市長よりごあいさつをお願いします。

長谷部市長

開会にあたり、一言、ごあいさつ申し上げます。本日は、ご多忙のところ、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。皆様には、日頃より、市政の推進に、深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。昨年を振り返ってみますと、七月には、「旧鮎川小学校」の木造校舎を活用した「鳥海山木のおもちゃ美術館」が開館し、入館者数は、早くも六万人に達するなど、大変好評をいただいております。十月には、待望の総合防災公園「ナイスアリーナ」がオープンいたしました。災害時には、避難所として機能し、「スポーツと防災」を兼ね備えた、複合型交流拠点であり、本アリーナを核とした、交流人口の拡大とにぎわいの創出、地域経済の活性化、そして、市民の健康増進に、結びつけてまいりたいと考えております。今後も「教育に関する大綱」に定めている「スポーツ立市の推進」をはじめ、各種施策を着実に展開してまいりたいと考えておりますので、なお一層のご協力をお願い申し上げます。本日の会議は、教育環境の充実を図る上で、非常に重要な会議であります。皆様の忌憚のないご意見をお願い申し上げまして、開会のあいさつといたします。どうぞ、よろしく願いいたします。

小川総務課長

ありがとうございました。本日、司会を務めさせていただきます総務課の小川と申します。よろしく願いいたします。総合教育会議ではありますが、今年度一回目であります。この会議は市長と教育委員の皆様との意見交換の場となっておりますので、じっくり議論していただきたいと思っております。よろしく願いいたします。それでは、次第に従いまして進めて参りますが、まずは報告と協議となっております。お手元の資料により各担当からご説明いたします。説明が終わりましたら、その都度ご質問を受けたいと思っております。最後に意見交換がありますので、各委員お一人ずつご意見を頂戴したいと思っておりますのでよろしく願いいたします。終了時間を1時間後の14時30分頃と予定しておりますので、ご協力よろしく願いいたします。それでは報告と協議の「(1)平成30年度主要事業について」事務局より説明をお願いいたします。

武田教育次長

((1) 平成30年度主要事業について説明した)

小川総務課長

ただいま主要事業について、これまで行われた事業とこれから行う事業の説明がありました。皆様からご質問やご意見がございま

したらよろしくお願ひします。

(質問、意見等特になし)

後ほど、意見交換のところでお話しいただいてもかまいません。
続きまして「(2) 各種事業の進捗状況について」の「(1) 学校環境の整備について」教育総務課から説明をお願いいたします。

三浦教育総務課長

- (1) 学校環境の整備について
- ① 北部学校給食センター建設事業
- ② 学校環境の適正化
- ③ 学校改築・改修計画について説明した

小川総務課長

学校環境の整備について、三点ほど説明がありましたが、皆様からご質問やご意見がございましたらよろしくお願ひします。

(質問、意見等特になし)

それでは「(2) 学校教育の取組について」学校教育課から説明をお願いいたします。

戸賀瀬主幹兼学校教育課長

- (2) 学校教育の取組について
- ① 由利本荘市・箕面市中学生交流事業
- ② コミュニティ・スクールの取組状況
- ③ ALTの配置・活動状況
- ④ 学ぶん・チャレンジ・プログラムツアーについて説明した

小川総務課長

学校教育の取組について説明がありましたが、皆様からご質問やご意見がございましたらよろしくお願ひします。

(質問、意見等特になし)

それでは「(3) 生涯学習の推進について」生涯学習課から説明をお願いいたします。

佐々木生涯学習課長

- (3) 生涯学習の推進について
- ① 学校支援活動事業
- ② 放課後子ども教室(キッピー教室)活動事業
- ③ 地域未来塾事業(学ぶんスペース)
- ④ まちづくり宅配講座
- ⑤ 鳥海山木のおもちゃ美術館
- ⑥ 大人の登校日～今日だけ小学生～
- ⑦ 社会教育委員の会
- ⑧ 成人式(式典)について説明した

小川総務課長

生涯学習の推進について8点ほど説明がありましたが、皆様からご質問やご意見がございましたらよろしくお願ひします。

(質問、意見等特になし)

続きまして「(4) スポーツ立市の推進について」スポーツ課から説明をお願いいたします。

佐々木スポーツ課長

- (4) スポーツ立市の推進について
- ①チャレンジデーへの取組
 - ②スポーツ教室・大会の開催
 - ③体育施設改修事業
 - ④体育施設の指定管理状況
- について説明した

小川総務課長

スポーツ立市の推進について、事業や施設について説明がありましたが、皆様からご質問やご意見がございましたらよろしくお願ひします。

(質問、意見等特になし)

次に進みたいと思います。「(5) 文化の振興について」文化課から説明をお願いいたします。

小野文化課長

- (5) 文化の振興について
- ①芸術文化鑑賞機会の拡充
 - ②芸術活動・創作意欲の高揚
 - ③文化財保護・支援と活用
- について説明した

小川総務課長

文化の振興について説明がありましたが、皆様からご質問やご意見がございましたらよろしくお願ひします。

(質問、意見等特になし)

次は最後になりますか、「(6) 読書活動の推進について」中央図書館から説明をお願いいたします。

田中政策監兼中央図書館長

- (6) 読書活動の推進について
- ①図書館の概要
 - ②「調べる学習コンクール」
- について説明した

小川総務課長

最後になりましたが、読書活動の推進について説明が終わりました。皆様からご質問やご意見がございましたらよろしくお願ひします。

(質問、意見等特になし)

それでは、報告と協議はこれで終わりたいと思います。続きまして3「意見交換」に進みたいと思います。これまで七件について説明がありましたが、皆様から改めて、ご質問、ご意見などをお聞きしたいと思います。それでは、おひとりずつご発言いただきたいと

思います。はじめに、齋藤職務代理者お願いいたします。

齋藤教育長職務代理者

改めて 30 年度はたくさんの事業が行われていたのだと思って説明を聞かせていただきました。今年度は木のおもちゃ美術館や、北前船など、人が集まる事業の開催について、たいへん素晴らしかったと思いました。いろいろな説明を聞かせていただいたが、私これから重点を置くべきと感じていることは A L T の配置についてです。今の世の中、英語は大変必要不可欠になっています。学校訪問でも感じていることですが、子ども達にとって A L T の存在が大きく影響していると思いました。これからは英語が当たり前の時代となるのは間違いないことだと思います。A L T の増員も決まるとのことですが、更に充実していただきたいと思います。最近では私の会社にも海外の方が多くいらっしゃいます。市内の企業の方が連れてきてくださる場合もありますし、一般の方がいらっしゃる場合もあります。正直なところ私は英会話ができませんので、社内の英語が堪能な者が対応はいたしますが、ホームページで英語対応ができると公表するまでには至りません。今後も企業では英語が必要な部所が増えてくると思います。これからは子ども達に英語に興味を持ってもらい、勉強してもらうことで、実際に話せる力をつけていてもらいたいと思います。そのためにも A L T の役割が重要だと思います。私は、教育委員として、学校訪問などで様々な活動を見せていただいて、常に教育委員会は様々な事業を行っていると感じておりますが、スポーツ立市の推進についても、2020（オリンピック）を夢見て頑張っている子ども達もいると思います。時々思うことですが、部活動のありかたも、働き方改革などと言われるように、先生方の負担がかなり大きくなっていると感じています。特に強い部ほど、その傾向があるように思います。強くなってほしいと思う反面、いろいろな問題を抱えていると感じています。そのあたりも考えながら上手にスポーツ立市の推進をしていかななくてはならないと思います。箕面市との交流も、職員研修会の発表の際、見せてもらいましたが、参加した子ども達が大阪の子ども達との交流を通してパワーをもらい、成長し、自信をもって帰って来たように感じました。今後もこの事業を継続して、子ども達が自信をつけられる場面ができたら良いと思いました。

小川総務課長

ありがとうございました。A L T のこと、英語教育の大切さについてお話しいただきました。

佐々田教育長

A L T のことについてお話しがありましたので、どのようになっているか説明をしてください。

武田教育次長

三名の増員の方向で進めております。予算について、これから議会にお諮りいたします。

小川総務課長

それでは桑山委員、よろしくお願いします。

桑山委員

平成30年度の事業説明がありましたが、大変充実した内容であったと思いました。私は職業として学校医をしておりますが、前から学校医と教育委員会と話し合う場がないと感じており、一昨年からは教育長、学校教育課長さんにご相談して、学校医と教育委員会の懇談会を年度末に開催するようになりました。これからも続けていきたいと思っております。一昨年からは、小中学校での定期健診で、運動器検診が行われるようになりました。その大きな目的は早く脊柱側湾を見つけることでもあります。県内の各市町村においては、目視だけでなく、モアレ検査を取り入れるよう学校医から要望が出されておりました。これについては予算化に努めているということでしたが、是非お願いしたいと思っております。また、私は不登校の問題について、個人的に取り組んで参りましたが、市のふれあい教室が開設され、大変救われている子ども達が多く、とても感謝しております。このところ気になるのが、高校を中退してしまう生徒がいることです。市内で私が関係した中でも、高校を中退してしまった生徒が少なからずおります。矢島中学校との関係校である矢島高校では定員割れが続いています。いつ募集停止になるかわかりません。もし閉校となるような事態となれば、市立中学校である矢島中学校との関係から、由利本荘市にも何らかの相談があるものと思っておりますが、それを黙って見ているか、あるいは、由利本荘市立の特色有る高校とする。もちろんこれには予算や人員など、大きな課題がありますので十分な検討が必要ですが、全国から不登校にならざるを得なかった生徒達を受け入れるというのにも検討に値すると思っております。このようなことも視野に入れながら将来を見据えていくことが、できたらよいと考えております。不登校に関しては家庭環境、貧困の問題が関係しています。十分な教育を受けることが困難な子ども達への支援について、既に行われているものも含めて充実をお願いしたいと思っております。

小川総務課長

ありがとうございました。不登校の問題等についてお話し頂きました。

佐々田教育長

不登校の対応について、説明してください。

戸賀瀬主幹兼学校教育課長

ふれあい教室を通して、不登校の子ども達が学校との関係が切れなないように登校を促したり、ふれあい教室への出席を登校扱いにする等しながら対応しているところです。また、子育て支援課など他課との連携を図りながら、貧困などの家庭環境に配慮しながら進めて参りたいと思っております。

佐々田教育長

高校生にも不登校となるケースがあるのですね。

医療、学校、行政が一体となって不登校の解決にあたるという提言ですね。

小川総務課長

それでは佐藤委員からよろしくお願いします。

佐藤委員

三点ほどございます。一点目は、廃校舎についてです。具体的には松ヶ崎小学校なのですが、有効活用について地域住民の中に心配している方もいる。活用方法や現状について住民への説明があったほうがよいのではないのでしょうか。ご検討願います。二点目は教員のストレスによる心の病気が急に増加していることについてです。この地域ではまだそれほどではないかもしれませんが、いずれ波及してくるのではないかと思います。働き方改革ということで、お盆などに休むようになったそうですが、先生方がストレスにより発病する前に、評定などに関わらず早めの連絡と対処を教育委員会と学校に図ってもらいたい。先生方の働き方改革のためにも必要ではないかと思います。三点目ですが、子ども達のふるさと教育についてですが、一步進めて、和文化の継承をこれから更に進める必要があるのではないかと思います。今までは、国際的に、海外でも通用するようというのが教育方針の一つであったように思います。海外も大切ではありますが、これからはオリンピックや万博などもございます。国内に目を向けることと、各地域の文化の継承者として子ども達に経験をさせながら、和の文化を発展継承してもらいたいと思います。番楽、おどり等様々ありますが、地域の方々も含めて文化交流の一つとして進めていただけたらありがたいと思います。ご検討よろしくお願いします。

小川総務課長

三点ほどお話しがりましたが、事務局から何かございませんか。

武田教育次長

松ヶ崎小学校についてですが、海辺の立地のせいもありまして、かなり外壁も痛んでおります。付近の方が近づかないようにロープを張っております。現在の使用状況は書庫、保管庫として使用中ですが、解体に向けた検討を進めているところです。

戸賀瀬主幹兼学校教育課長

教員のストレス、働き方改革の関連についてですが、現在精神疾患による休職が二名、長期の病休が一人という状況です。対策としてはストレスチェックの実施、出退勤時間の把握により管理職職員による面談、相談の実施をしています。部活動についても休養日の設定、部活動指導員の設置などの対応を行って参りたいと思います。ふるさと教育についてですが、小中学校でそれぞれ、横笛や地域の方を講師にした学習、お寺での座禅の体験など和文化の継承に関わる活動を行っております。今後、一層推進していければと考えております。

小川総務課長

それでは小坂委員、よろしく申し上げます。

小坂委員

学ぶんチャレンジプログラムツアーについてですが、子ども達が知らなかった由利本荘市内の良さを知るとても価値のある体験であったと思います。将来この土地に子ども達が戻ってきたくくなるような体験を、沢山させることが大切だと思います。できれば、子ども達が創造力を働かせて自ら企画したものを、その学校の特色として毎年実施できるように自由に使える予算を確保できれば良いと思います。後で成長した子ども達が学校時代、こんなことを自分たちで企画して、こういう体験をしたのだと思えるよう、特色ある学校経営ができる予算をお願いしたいと思います。また、2020年からプログラミング教育が始まります。そのためにはタブレットやパソコンが必要になります。由利本荘市では十分に確保されるのでしょうか。また先生方も教えられるように、研修が必要になると思います。また自分の体験からの話ですが、高校での英語の授業で、他の中学校卒の生徒との学力に大きな差を感じました。同じ中学校でも、学校によってこんなに違うものなのだと思います。プログラミング教育も、環境が充実した学校で子ども達に授業を受けさせたいと思います。将来、自分たちがこんな先進的な教育を受けられた町だから、またここに帰って、自分の子どもを育てたいと思える町であってほしいと思います。地域の良さを知ることができる教育、それも、その地域の子だけでなく、他地域、例えば岩城地域の子も鳥海地域の良さを学べるようにしていただきたい。どの地域の子も子ども達がどこの施設も自由に活用できて、市が自分たちのことを大切に育ててくれたという思いを持って成長し、そして戻ってくるような教育をしてほしいと思います。

小川総務課長

小坂委員のご意見について事務局からありませんか

戸賀瀬主幹兼学校教育課長

プログラミング教育の関連ですが、パソコンのシステム更新を検討しております。またタブレットの活用などプログラミング教育を視野に入れながら、県立大学と協力しながら活用を検討しております。

武田教育次長

学ぶんチャレンジプログラムツアーですが、参加した児童、先生からも好評で、継続して開催したいと考えております。

小川総務課長

佐々田教育長からお願いいたします。

佐々田教育長

各種提言等をいただきましたので、一つ一つ再度記録をみながら教育委員会で議論していきたいと思っております。ありがとうございます。

小川総務課長

最後に長谷部市長からお願いいたします。

長谷部市長

委員の皆様から様々ご意見を頂戴いたしました。ありがとうございます。いろいろありましたが、できるものから教育委員会でも、ぜひ取り組んでいただきたいと思います。また学校の統合、改修、改築について、教育委員会からスケジュールの提示がありましたが、大事なのは地域住民の意見をきちんと聞いて、できるだけ早く案を示してもらいたい。財政との絡みがあるということです。普通交付税の加算措置が平成31年で終了します。過疎債も終了します。平成32年からは、合併したどこの自治体も大変厳しい財政運営になります。ですから、学校の環境整備はやらなくてははいけません。例えば新山小学校と北中学校の改修が重ならないよう、期間を空けるなどの手法をとらなくてはならないと思いますし、小友小学校と石沢小学校の統合についても、早めに結論をださなくてはならないと思います。行政懇談会では必ず質問があります。いつまでも検討中という回答ではよくありません。方向性が決まっているのであれば、できるだけ早めに対応してもらいたいと思います。また、学校が自由に使える予算の確保というご意見がありましたが、やはり財政との絡みがありますので、すぐに予算化するのは難しいですから、委員の皆様のご意見を教育委員会でよく議論していただきたい。まもなく議会が始まりますが、平成31年度の予算が審議されますが、教育委員会の予算は前年度当初と比較して、15億円の減額になります。今後このような状況が続いていきます。子ども達の教育にとって絶対に欠かせないというものを皆さんにも議論していただき、財政担当に上げていただきたい。私も委員の皆さんの意見を尊重して、期待に応えられるようにしたいと思います。ALTの増員につきましても提案がありましたが、これからは必要な時代だと思いますし、必要な予算についてこれから議会にお諮りいたしますので、これからもいろいろなアドバイスをいただければありがたいと思いますのでよろしく願いいたします。

小川総務課長

皆様ありがとうございました。予定した時間を超過しておりますので、これで意見交換を終了したいと思います。

この後、何も無ければ今年度の総合教育会議は今回で終わりになります。次回は来年度になりますが、来年度は、今の教育大綱が最後の年となっておりますので、策定内容などについての案件になるかと思います。それでは、これをもちまして由利本荘市総合教育会議を閉じさせていただきます。どうもありがとうございました。

(閉会 午後2時54分)